

お知らせ

音楽療法からのアプローチ

2017年7月10日(月)に学術研究交流館(IR-101)にて Patricia Winter 先生をお招きし、生活美学ワークショップを開催いたしました。(詳細 URL → <https://info.mukogawa-u.ac.jp/seibiken/?p=7380>)

音楽療法に触れ、実際に楽器を使って演奏していく、歌っていくことで、参加者の皆様が楽しそうであったり、和やかな雰囲気になっていくのを感じ、音楽療法が精神や心理に何かしらの効果を与えているような様子や気持ちを体験できた貴重なワークショップでした。



最初に音楽療法について、音楽と脳との関係や認知症、アルツハイマーなどへの音楽療法の効果などを学びました。



講義後、ワークショップを参加者全員としていきました。
まず楽器を選びます。



ルールがないということをルールに思うままに楽器を演奏していきます。中央の太鼓はランダムに選ばれた人が叩いていきます。決められたリズムで演奏していても、徐々に自分のリズムで各々が楽器を演奏し、その時だけしか聴くことのできないリズムが生まれていました。

最後にThe Tokes「The Lion Sleeps Tonight」をパートに分かれて、合唱をしました。



メロディ通りに歌うのではなく、
次第にリズムに合わせて個人個人のメロディが響き渡っていました。